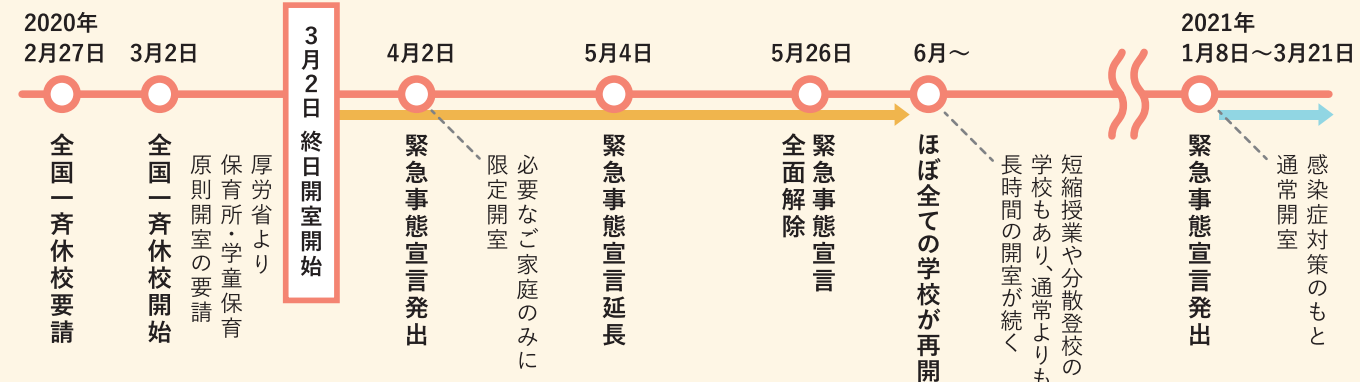


あたたかいご支援を本当にありがとうございます

2020年度は放課後NPOアフタースクールにとって、また学童業界全体にとっても試練と挑戦の1年となりました。新型コロナウイルス感染症の猛威は子どもたちの生活や心にも大きな影響を与えました。コロナ禍において、放課後の居場所はどうかあるべきか、また乗り越えた先の未来で私たちは次世代に何を残せるのか。激動と呼ぶにふさわしい1年、私たちが“今できること”に邁進し続けた中で改めて見えてきた放課後の価値。日々支えてくださった皆様への感謝を込めて、ここにご報告いたします。

命を守る、アフタースクール

コロナ禍における学童現場の動き(時系列)



前代未聞の一斉休校。未曾有の事態に 全国の学童現場は激動の1年に

突然の一斉休校に伴い、学童保育現場では終わりの見えない終日閉室(最大で週6日、8時～19時預かり)が開始。これにより人手・場所・資金不足に元来悩んでいる学童保育業界はさらに苦しみ、やむを得ず閉室するクラブもありました。厚生労働省から原則開室を求められたものの当初の補助金は本当にわずかで、現場や世の中の声を受けて増額となりました。子どもたちも、校庭の遊具使用禁止、常時マスク着用徹底、ソーシャルディスタンスの確保などの感染症対策によって遊びや活動が制限され、放課後のあるべき姿とは離れた、子どもたちがのびのびと楽しめない時間を強いられることもありました。

私たちが直接運営しているアフタースクールも、緊急事態宣言下は医療従事者などエッセンシャルワーカーのご家庭を対象に限定開室となった拠点がほとんどでした。やむなく閉室となった拠点でも、自宅にいる子どもたちとオンラインでつながるなど、今、自分たちにできることを常に模索。保護者や学校からも子どもたちのためにと寄付が集まり、支援の手を差し伸べていただきました。



Topic 01

子どもと家族を守る すべての方へ

2020年5月、自らも現場運営をしている私たちは全国の学童スタッフが心身ともに疲弊していることを痛ほどに実感していました。そこで、少しでも多くの家族を応援したい、そして私たちと同じ立場の方に勇気を届けたい。その思いから応援動画を公開しました。



Topic 02

台東区立谷中小学校 放課後子供教室 開校!

2020年6月、21校目のアフタースクールが開校。放課後の時間は、「えらぶ・きめる・つくる」を合言葉に、これまで団体が積み重ねてきた経験やノウハウを活かして、子どもたちが主体的に好きなことに没頭できる環境づくりや活動設計を行っています。

2020年度に生み出したインパクト

活動に参加した子どもの人数

15万人 (2020年度延べ)

自己肯定感

92% (一般:87.5%)※

▶解説
※アフタースクール参加の小学生が「あなたは自分のことが好きですか?」に「はい」と答えた割合

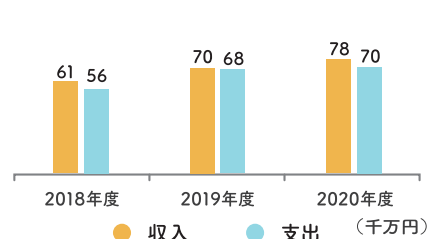
プログラムを届けた都道府県数

43都道府県(111市区町村)

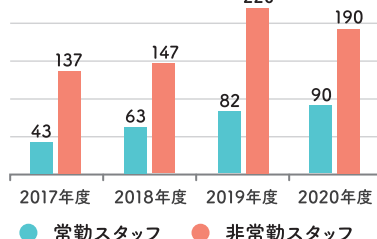
子どもたちとの向き合い度

無限大

財務情報



組織情報



#みんなの声

「みんなもっと仲良くなりたいから、もっと遊びたい。アフタースクールにみんな来たらいいのに(緊急事態宣言により限定開室期間中の声)」(3年生)

「おじいちゃんやおばあちゃんに会いたかったな。でも、夏休みはアフタースクールでいっぱい遊べた」(2年生)

「アフタースクールは子どもにとっても共働きしている親にとっても生活の大切な一部です。昔と違い今の時代は、放課後に普通に友達と遊んだり宿題をすることも少ない中、アフタースクールでは友達と共に安心して楽しく過ごすことができるということに大変魅力を感じています。」(アフタースクール利用保護者)

「いつも楽しくアフタースクールに行かせていただいています。今年は学校も通常日程ではなくなかなかお友達が作りにくい環境でしたが、アフタースクールがあったため、早い段階で友達ともお話しをすることができ、また学校生活にも慣れることができました。大変感謝しています。」(アフタースクール利用保護者)

「トライするのはいつだって子どもたち。私たち大人は、その背中をそっと見守ることしかできません。せめて「アフタースクール」という場所が、子どもたちの安心できる、一歩を踏み出そう!と思えるような空間、居場所であるように。そして、失敗してもいつだって戻ってエネチャージできるような居場所であられるように。子どもたちのあらゆる「一歩」を、どんな角度からも応援できるようなアフタースクールでいられるよう明日からもまた、子どもたちと毎日を紡いでいきたいと思います。」(アフタースクール現場スタッフ)

Message

代表メッセージ

代表理事

平岩 国泰



いつも、放課後NPOアフタースクールを応援くださり、誠にありがとうございます。2020年度は、法人化して11年目、20周年に向けて走り出す年でありました。東京オリンピックもあり、華やかな1年を想像しておりましたが、様相は一変いたしました。2020年3月2日より全国一斉休校となり、私たちアフタースクールは学校に代わって急遽朝から開室することになりました。子どもたちの学習サポート、遊びの機会創出、消毒を含めた環境整備、不安げな子どもの心理的なサポートを全力で行い、結果的に、3～4か月の長期間にわたって子どもたちの心と体を支えました。当時「準最前線」という言葉をよく使っていました。医療従事者など最前線で働く方々が全力で仕事できるように、私たちが準最前線としてその方々の子どもたちに安全で楽しく過ごしてもらうことで、最前線を支える気概でした。「もう一度同じことができるか?」と問われると正直自信がありません。そのくらい全てのパワーを出し切った1年となりました。私たちが頑張ることができたのはひとえに多くの皆様に励ましていただいたこと、そして何よりアフタースクールを楽しみに来てくれる子どもたちの姿です。遊びや活動が制限され、子どもたちに「申し訳ないね」と話したところ、「いや、僕たち楽しいよ!」の一言にどれだけ救われたことかわかりません。「放課後はゴールデンタイム」。子どもたちの笑顔が放課後にあふれ、ますます輝かしいものにできるように一同頑張ることを誓います。これからもご声援をどうぞよろしくお願いいたします。

団体概要

特定非営利活動法人 放課後NPOアフタースクール

〒113-0033 東京都文京区本郷1-20-9 本郷元町ビル5F
Tel: 03-6721-5043 Mail: info@npoafterschool.org
WebSite: <https://npoafterschool.org/>



放課後NPO
アフタースクール

2020 ANNUAL REPORT

スタッフアンケート

「今年度は、仕事もプライベートも様々な変化があり、モチベーションを保つことがとても難しかった。」
(アフタースクール現場スタッフ)

「オンライン化により、遠方の学童クラブ同士が繋がれたり、また企業の方が様々なプログラムに参加できたりと新たな可能性も感じました。」
(本部スタッフ)

「今は、このようなご時世なので直接会えないということが1番大きな原因ではありますが、現場で働くなかで仲間と仕事をするのはすごく楽しいけれど、その一方つらいこともあり1人でもがいて孤独を感じてしまうこともありました。」
(アフタースクール現場スタッフ)

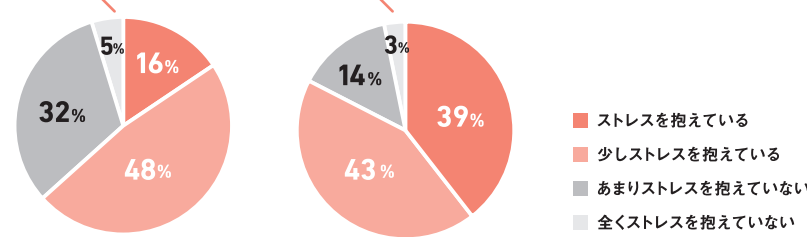


長引く休校で子どもも保護者もストレスを感じている中、私たちにできることを模索

一斉休校から約2ヵ月が経った4月末、自宅で過ごす子どもたちの実態を知るために、小学生のお子さんを持つ保護者の方に緊急アンケート(※1)を実施しました。結果から見てきたものは、休校中の子どもたちが「いま最も求めていることは何か」でした。

在宅勤務や外出自粛により、家族との時間が増えたことへの喜びがある一方、**64%の子どもがストレスを抱えていて**、その最大の理由として「**友達や先生に会えないから**」が挙がりました。また、**保護者も8割以上の方が休校期間中にストレス**を感じていました。「仕事と子育ての両立」や「休校による子どもの学習面への不安」が主な要因です。人とのつながりが育む社会的な学びが失われていることが、大きな不安となっていることが読み取れます。また、保護者からの「学校の先生と毎日10分挨拶ができるだけでも嬉しい」「学業以外の面で学校で友達と過ごして得ることは計りしれない」というご意見はまさに心からの願いと受け止めました。

子どものストレスの状況 保護者のストレスの状況



遊びや学びを諦めない、成長機会を止めない

私たちは2020年3月に全国各地の学童クラブを対象とした調査(※2)を行いました。休校期間中、子どもたちの居場所を守り続けてきた各地の学童現場では、衛生用品に次いで活動充実を目的とした物資を求める声が高く、子どもの心身の健やかさを守ることを使命とする人々ならではの想いを感じ取りました。一方でオンライン活用で世間の注目が集まる中、学童現場にはそうした環境がほとんどないことも改めてわかりました。こうした調査を通し、私たちはまず以下のアクションを行いました。



1. オンラインアフタースクールの実施

放課後NPOアフタースクールも、オンラインでのプログラム経験がほとんどなく手探りでのスタート。適切な実施時間や感染防止対策方法、離れていても楽しめる仕掛けなど、回を重ねるごとにブラッシュアップし、少しずつ全国の学童現場に向けても届けられるようになっていきました。

写真解説:オンラインプログラムの様子。子どもたちの「友達と話したい」という声を受け、休校当初はテーマを設定したおしゃべりや複数学童で連携できるクイズなどを数多く開催。

2. 物品寄付・活動資金を募集

衛生用品および学童運営に必要な物品の募集や、より多くの子どもたちにオンラインを活用した体験機会を届けられるよう活動支援金の寄付募集も特設サイト(※3)を通して行いました。これまで協働してきた企業様をはじめ法人各社からも多大なるご支援をいただき、胸が熱くなる喜びと感謝の想いが込み上げました。ご支援いただいたすべての皆様に心より感謝申し上げます。

※2「一斉休校に伴う、学童保育等緊急開室対応の状況調査アンケート結果」
https://npoafterschool.org/wp-content/uploads/2020/03/202003_houkago_questionnaire.pdf

※3 特設サイト「子どもたちの未来を救え!」
<https://npoafterschool.org/archives/news/2020/05/28522/>



子どもたちにとって、放課後の居場所は家庭でも学校でもないサードプレイス(第三の居場所)であってほしいと考えています。

- 自分らしくいられる
- 好きな遊びに没頭できる
- 友達と過ごす何気なくもかけがえのない時間がある
- 新しい世界に出会い、挑戦したり夢中になれる

そんな放課後を全力で守ってきたい。改めて自分たちの存在意義を感じる機会となりました。

※1「休校中の学びに関するアンケート結果」
<https://npoafterschool.org/archives/blog/2020/05/28475/>

大人が一步踏み出す 変化する社会に向き合い、自ら変わっていく

コロナ禍においても学童現場に支援が不足している中、企業や行政等と連携して子育て・教育プロジェクトを推進する専門チーム「ソーシャルデザインチーム」では、パートナー企業の皆様と共に全国の子どもたちや学童クラブへの活動を行ってきました。



学童現場のITスキルとリテラシーアップに注力！ 未来のために今が変わる時

ICTの活用で苦手意識も高い学童クラブに向けてオンライン活動することは私たちにとっても非常にチャレンジングなことです。プログラム開催当日に向けて機器の無償貸し出しはもちろん、細やかな電話サポートや事前レクチャー、あらゆるご相談に真摯に対応し、何時間も準備に時間をかけてようやく当日を迎えます。この苦労を伴ってでも学童クラブを支援したいのは、子どもたちの未来を誰よりも応援している仲間だからです。子どもたちが生きる未来に元々必要とされているテクノロジーの活用。制約の中でただ過ごすのではなく、大人があきらめずに乗り越えて次に進む道を模索する。そんな姿を子どもたちに見ていて欲しいのです。

オンライン化により既存のプロジェクトもパワーアップ！

これまで様々な企業と協働し、多種多様な子育て・教育プログラムを年間300か所以上の放課後・学校現地に現地訪問して開催してきましたが、2020年はそのほとんどでオンラインバージョンを開発しました。企業の皆様と共にアイデアと技術を駆使してパワーアップしたプログラムを全国各地の学童クラブや学校授業に届けました。これまで以上に学童クラブ同士や子ども同士のつながりを創出し、また社会と放課後現場が一層近づいたように思います。



スミセイアフタースクールプロジェクト with 住友生命保険相互会社様

当選団体様に必ず開催する大人向けの「ほかご勉強会」を完全オンライン化し、各地のクラブと合同開催にしました。ほかの地域の放課後事情や運営ノウハウを知る機会となり、喜びの声を多くいただいています！つながりを継続する専用コミュニティサイトも発展中！



プログラミングの旅 with 株式会社セールスフォース・ドットコム様

2020年度より小学校でプログラミング教育が必修化。コロナ禍で想像とは大きく異なる状況となりましたが、オンラインでの研修会開催や授業に活用しやすいツールを無料で提供するなどを通し、学校の先生方のお役に立てよう取り組んできました。



おいしい! 野菜チャレンジ with カゴメ株式会社様

体験を通じて野菜について学び、子どもたちが野菜と仲良くなるきっかけをつくる本プログラム。学童スタッフの声に寄り添い、オンラインでも楽しめる方法をいち早く模索し、リアルとオンラインの良さを両方体感できる内容に生まれ変わりました。



市民先生や企業とつくる新しい放課後 「みんなのアフタースクール」 のべ800名近くの子どもたちが参加！

子どもたちのために手を取り合い、大人が変わることで“楽しい”はつくれる。それを形にできたのが、「みんなのアフタースクール」です。市民先生や企業各社様のご協力をいただき、長期休み中の学童クラブの活性化や現場のオンライン活用・リテラシー向上に寄与。子どもも大人も一緒に新しい学びを楽しむ本取組みはその後も継続しています。

「みんなのアフタースクール」詳細:<https://npoafterschool.org/everyoneafterschool/>

これからの放課後をもっと楽しく、みんなで

みんなでつくる放課後の未来 オンラインイベント「超アフタースクール」

2020年11月20日(金)、「世界こどもの日」にオンラインイベント「超アフタースクール」を開催しました。社会情勢の大きな変化を迎えた中、自分たちだけではできないことも大人が柔軟に手を取り合い、社会で子どもたちに向き合えば、あらゆる可能性が広がっていることを目の当たりにした私たちが、「世界こどもの日」にこのメッセージをみんなで体感できる場をつくりたいと願い開催しました。当日はこれからの放課後をみんなで考え、子どもたちの声に寄り添い、同じ志を胸に頑張っている者同士で語り合う時間となりました。ご参加いただいた皆様に感謝申し上げます。



「超アフタースクール」レポート:<https://npoafterschool.org/archives/blog/2020/12/30529/>

コロナだからではなく、未来のために これからも新しい遊びや学びのかたちを社会全体で考えていく



株式会社セールスフォース・ドットコム様からいただいたご支援により、アフタースクール現場のICT環境整備を推進することができ、多くの子どもたちがSTEAM領域の遊びや体験に触れる機会をつくりだすとともに、現場スタッフの業務を効率化することができました。

アフタースクール現場スタッフの声

「日々子どもたちと過ごしていると、「アフタースクール」が小さな社会であることを常々感じさせられます。毎日が互いに影響し合い、共鳴し合う日々です。私たちは、この小さな社会であるアフタースクールに、自分の想いや行動がきちんと反映しているんだという実感を子ども達が持てるよう励んでいます。自分の言葉で人が動く、自分の力で何かを変えられる、自分が世界に関わっているんだという感覚を抱いてくれたら、それは子ども達がこれから生きていく上で大きな拠りどころとなることと思います。そんな体験を積み重ねられる場でありたい、そう強く願っています。」

〔2020年度 協働およびご支援をいただいた企業・団体の皆様〕

ほかにも多くの企業・団体、行政の方々からお力添えをいただきました。

アシックスジャパン株式会社、アブライド マテリアルズ ジャパン株式会社、伊藤忠都市開発株式会社、株式会社 インターメスティック、江崎グリコ株式会社、株式会社ADKホールディングス、株式会社MJJ、大塚食品株式会社、カゴメ株式会社、カルビー株式会社、木村石鹸工業株式会社、キュービー株式会社、株式会社 教育と探求社、栗田工業株式会社、株式会社ぐるなび、公益財団法人日本財団、ゴールドマンサックス証券株式会社、株式会社サザビリーヴ、株式会社サンセイランディック、参天製薬株式会社、JPモルガン証券株式会社、シティグループ証券株式会社、住友生命保険相互会社、株式会社セールスフォース・ドットコム、ソニーグループ株式会社、株式会社第一興商、パークレイズ証券株式会社、ハタチ基金、ビー・エム・ダブリュ株式会社、兵庫県芦屋市教育委員会社会教育部青少年育成課、不二製油株式会社、ヘンケルジャパン株式会社、ボッシュ株式会社、三井不動産ビルマネジメント株式会社、三井不動産レジデンシャル株式会社、港区保健福祉支援部障害者福祉課、株式会社メルカリ(敬称略、50音順) ※その他にも多くの皆様からご支援をいただきました。